

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

2026(R 8)年度

# 事業報告書

## 目次

開催通知	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事業報告	2026(R 8)年度事業計画	2
事業報告	2026(R 8)年度収支予算	7

2026(R 8)年 2 月 12 日

会 員 各 位

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会  
会 長 藤岡 克徳

## 2026(R 8)年度 事業報告セミナー開催通知

2026(R 8)年度事業報告セミナーを下記の要領で開催しますので、会員各位の出席を要請いたします。

### 記

日 時：2026(R 8)年 3 月 1 日(日) 11 時 30 分～12 時 10 分  
場 所：川崎医療福祉大学 講義棟 4601 講義室  
倉敷市松島 288 番地

### 事業報告セミナー次第

- 一. 司 会 者 挨 拶
- 一. 開 会 の 辞
- 一. 会 長 挨 拶
- 一. 事 業 報 告
  - (1) 2026(R 8)年度事業計画
  - (2) 2026(R 8)年度収支予算
- 一. 質 疑 応 答
- 一. 閉 会 の 辞

## 【事業報告】

### 2026(R8)年度事業計画

#### I. 2026(R8)年度事業方針について

2024年1月の能登半島地震では多くの方々が被災された悲しい記憶も冷めやらぬ中、2026年1月6日には島根県・鳥取県で最大震度5強を観測した地震が発生いたしました。幸い大きな被害は報告されておりませんが、災害はいつ起こるかわからないことを再度認識された方も多いと思います。

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会（以下、岡臨技）では2026年1月14日に昨年からの念願であった岡山県との「災害時公衆衛生活動への協力に関する協定書」の締結を行いました。協定締結を新たなスタートラインと考え、岡臨技として災害発生時の詳細な運用の検討や「災害対応マニュアル」のブラッシュアップを考えております。また、災害時における安否確認等のシステム運用や臨床検査技師としての派遣要員を確保すること、そのために災害対応に必要な知識を習得するための研修会等の開催も検討しております。そして昨年定款を改正して増員した理事の内1名は災害担当として活動すべく、岡臨技の組織体制も変更する予定にしております。一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技）では2026年4月より「災害対応人材登録システム」が運用開始予定です。会員の皆様方へは災害対応についての関心を持っていただき、研修会等へのご参加や日臨技の登録へのご協力をよろしくお願いいたします。

日臨技では、医師の働き方改革のためのタスク・シフト/シェアに関する指定講習会、品質保証施設認証制度が引き続き開催されております。今まで、この講習会は岡山県内で独自開催となっておりましたが、2026年度からは日臨技中四国支部での開催と変更になります。岡山県内でも次年度最低1回は開催予定ですが、まだ、指定講習会を受講されていない会員の皆様には県内で開催される講習会の受講をお勧めいたします。限られた人員で検査室運営を行っている施設の方からは、タスク・シフト/シェアは現状難しいとお声も頂戴いたしますが、今後、臨床検査技師を目指す次世代への将来展望ととらえて頂きたいと思っております。また、日臨技の品質保証施設認証制度は、2017年の医療法改正を順守し、各施設で実施されている検査項目のほぼすべてを認証範囲としており、日々の是正改善を積極的に取り組むことが評価対象となっております。昨年度までに全国で676施設

（県内20施設）が認証されております。岡臨技は今年度も日臨技と共に、これらタスク・シフト/シェア指定講習会の運営、品質保証施設認証取得推進に携わっていきます。また、岡臨技の独自事業である講演会、精度管理調査、健康と臨床検査展、ソフトボール大会なども、昨年度同様に原則対面形式で開催していきませんが、コロナ禍で経験したWEB開催の良いところも理解しておりますので、対面形式、WEB形式、WEB併用形式と臨機応変な発想で企画を行いたいと考えております。

岡臨技のホームページにはカレンダー機能を追加して予定の確認をしやすいよう改良いたしました。もっとこうしたほうが良いなどのご意見等があればご連絡を頂きたいと思っております。また、災害時における安否確認に使えるような機能も導入の検討をしております。そして施設メーリングリスト、個人メーリングリストはこれまで以上に、リアルタイムな情報発信に努めてまいります。メール登録がまだの方は早急にご登録をお願いいたします。

2026年は2年に一度の診療報酬改定の年です。骨太の方針を反映して診療報酬は+3.09%となりましたが、手放しで喜べるような状況ではありません。検査分野では実施コストが診療報酬点数を上回る幾つかの不採算項目で点数引き上げと、病理や筋電図、細菌分野での新設の加算が提案されています（2026年1月20日現在）が、大幅な増収が期待されるものではありません。また、日本における人口動態もご存知のように毎年約50万人（鳥取県の総人口に匹敵）が減少しており、高齢化とともに労働年齢人口の減少が問題となっており、将来の臨床検査技師を目指す若者が少なくなることも今後の課題です。臨床検査技師としての仕事は10年後、20年後も続いていくことが出来るように、既存の仕事だけでなくチーム医療を改めて考え直す必要があります。自施設で出来る新たな仕事は何だろうと新たな発想で新しいことに進んでチャレンジする、岡臨技は会員の皆様へ新しい挑戦への後押しをしていきたいと考えております。

#### II. 日臨技への対応

##### 1. 医師の働き方改革のためのタスク・シフト/シェアに関する指定講習会

・日臨技中四国支部主催での開催と変更になりますが、岡山県内でも開催予定です。

##### 2. 検査と健康展

・対象を広く一般市民から臨床検査技師を目指す若年層にシフトする可能性があり、開催場所・開催内容を検討する予定です。

### **Ⅲ. 岡臨技の事業計画**

#### **1. 講演会の充実**

・日臨技、日臨技中四国支部と連携しつつ、岡山県においても魅力ある講演会、研修会などを企画し、会員の資質向上の手助けをします。

#### **2. 情報ネットワークの活用**

・ホームページやメーリングリストなどを活用し、より有効なネットワークづくりをすすめます。そして組織強化を図ります。  
・今後予想される災害に対応し、災害対応マニュアルの整備、公的機関との調整、他の医療団体との協力を図ります。

#### **3. 県民から信頼される臨床検査技師**

・地域のイベントなどへの参加を通して、臨床検査技師の知名度をさらに高めるとともに、県民から信頼される臨床検査技師、技師会を目指します。

#### **4. 会員のための岡臨技**

・新人研修会、ソフトボール大会など会員の親睦が図れるイベントを企画、実施します。

## 【総務担当関係】

### I. 総務部

#### 1. 会議

諸会議は原則として以下により開催したい。  
対面での会議開催が難しい場合にはオンライン会議とする。

- 1) 定款に基づき、総会は定時総会（6月）の1回
- 2) 理事会：毎月 第1木曜日
- 3) 担当者会議：総務部 2ヶ月に1回  
学術部 1ヶ月に1回  
渉外部 1ヶ月に1回

#### 2. 会員の資質、倫理の向上

永年会員や功労者、岡山県及び当該保健所などの行う表彰等に会員を推薦したい。

#### 3. 日臨技との連携

日臨技及び日臨技中四国支部との連携をとり、当会の運営を円滑に進めていきたい。

#### 4. 新入会会員オリエンテーション

新入会会員対象に、岡臨技活動の内容説明を含めた新入会オリエンテーションを行い、技師会活動への理解と協力要請、あわせて会員相互の親交を深める場所を提供したい。

#### 5. 事務処理の円滑化

専属の事務員により、理事と事務所との業務の分担を行い、業務の円滑化を図りたい。

#### 6. 災害対策マニュアルの作成

日臨技の災害対策マニュアルに準じて、岡山県臨床検査技師会災害対策マニュアルの作成を進めている。今後、災害発生時における技師会の対応を考えていきたい。

#### 7. 岡山県との災害協定締結

災害時において被災地への支援を行うために、令和8年1月14日に岡山県と「岡山県災害時公衆衛生活動への協力に関する協定」を締結いたしました。

今後、災害地に派遣できる人材を確保するスキームの作成と育成を行っていきたい。

### II. 会計の部

#### 1. 事業活動の継続性と財政基盤の確立

公益法人会計基準に従い、財政諸表体系の適切な管理と事業の効率性を高め、財政基盤の確立に努めたい。

#### 2. 会計処理業務の円滑化

円滑な会計処理を行い、会計ソフトの活用によって一層の能率化を図りたい。

### III. 情報・組織部

#### 1. 組織

会員動向の把握に努め、日臨技の会員管理システムに対応した「入会、継続、異動」の処理を行う。また、メーリングリストへの登録を促し、災害時等の緊急時をはじめとする連絡方法の確立を図りたい。また災害対策マニュアルを作成し、県や機器メーカー、卸業者との協定、連携を確立し、災害時に役立てるようにしたい。

#### 2. メーリングリストでの情報発信

会報の廃刊に伴い、それに代わる手段として、施設メーリングリスト・岡臨技Webニュース送信を2021年7月より行っている。今後も迅速な情報発信の手段として適宜活用したい。

#### 3. ホームページの有効な活用と運用

ホームページを有効に活用できるように、アップデートを行なっている。行事カレンダーも導入し、会員に情報が分かりやすいホームページにしていく。メーリングリストと併用して会員の皆様への情報開示、伝達をスムーズに行いたい。

#### 4. 日臨技事業

日臨技とは独立した団体として活動していくが、互いに協力・連携を取りながら臨床検査技師の学術研鑽並びに地位向上のために積極的に協力して活動していきたい。

## 【学術担当関係】

### I. 学術・生涯部

#### 1. 第57回岡山医学検査学会

本学会を2027年3月に、倉敷市において開催したい。

#### 2. 講演会、研修会、技術講習会

会員の学術、技術の向上を図るため、日臨技の生涯教育研修制度と連動しながら、臨床検査技師として必要な基礎的及び専門的知識を習得すると共に、専門的な技術に関する講演会、技術講習会等を下記の部門において開催したい。

##### 1) 生物化学分析部門（臨床化学、免疫血清、環境物質、薬・毒物、遺伝子・染色体）

###### 1.1) 臨床化学、免疫血清

講演内容：臨床化学の基礎（仮）

開催時期：2026年11月

開催場所：ハイブリッド開催

- 1.2) 臨床化学、免疫血清  
講演内容：臨床化学実技研修会  
開催時期：2027年2月中旬  
開催場所：川崎医療福祉大学
- 1.3) 臨床化学、免疫血清  
講演内容：未定  
開催時期：2027年1月  
開催場所：ハイブリッド開催
- 1.4) 遺伝子・染色体  
講演内容：病理・細胞との合同開催  
開催時期：未定  
開催場所：未定
- 2) 生理機能部門（循環機能、超音波、神経生理）
  - 2.1) 生理機能：神経生理  
講演内容：未定  
開催時期：2026年12月  
開催場所：未定
  - 2.2) 生理機能：呼吸機能  
講演内容：未定  
開催時期：2027年1月  
開催場所：未定
  - 2.3) 生理機能：超音波（腹部、表在）  
講演内容：未定  
開催時期：2027年2月  
開催場所：未定
- 3) 形態検査部門（細胞、病理、一般検査、血液）
  - 3.1) 病理・細胞  
講演内容：未定  
開催時期：2027年2月  
開催場所：未定
  - 3.2) 血液  
講演内容：未定  
開催時期：未定  
開催場所：未定
  - 3.3) 一般検査  
講演内容：未定  
開催時期：2027年2月（予定）  
開催場所：未定
- 4) 感染制御部門（微生物、ウイルス、寄生虫、疫学・公衆衛生）
  - 4.1) 感染制御部門  
講演内容：微生物実技講習会（予定）  
開催時期：2026年7月（予定）  
開催場所：現地
  - 4.2) 感染制御部門  
講演内容：未定  
開催時期：2027年1月（予定）  
開催場所：未定

- 5) 移植検査部門（輸血、移植、生殖医療）
  - 5.1) 移植検査部門  
講演内容：未定  
開催時期：未定  
開催場所：未定  
実技実習：未定
- 6) 総合管理部門（企画・運営）
  - 6.1) 接遇研修会  
講演内容：未定  
開催時期：2026年9月～10月  
開催場所：未定
  - 6.2) 糖尿病療養指導講演会  
講演内容：未定  
開催時期：2027年2月（予定）  
開催場所：未定
- 7) 地区別講演会
  - 7.1) 県北地区講演会  
講演内容：一般検査部門関連予定  
開催時期：未定  
開催場所：未定
  - 7.2) 県北地区講演会  
講演内容：生理検査部門関連予定  
開催時期：未定  
開催場所：未定

## II. 精度管理部

### 1. 臨床検査精度管理調査

臨床検査データの精度把握のために県下の医療施設、登録衛生検査所、検診センター、診療所、クリニック、検査機器試薬メーカーなどを対象とし、施設間の互換性向上のため精度管理調査を実施したい。なお、この調査は岡山県医師会との共催事業として継続したい。

案内状送付：2026年7月初旬

試料配布：2026年8月中旬

### 2. 臨床検査精度管理調査結果速報会

精度管理調査結果を参加施設に速やかにフィードバックするため、調査実施後早い時期に速報会を開催したい。なお、臨床検査精度管理調査結果に関する対応として、施設間差のみられる項目についてはその原因を追求し、必要に応じて施設への対応、原因の調査研究を進めたい。また、日臨技品質保証施設認証制度に必要な精度管理に関する研修会としたい。

開催時期：2026年10月（予定）

開催場所：倉敷市

### 3. クロスチェックの充実

岡山県医師会との共催事業として毎月1回実施しているこの事業の充実を図る。

施設間差是正及び日々の検査精度向上、また日臨技の標準化事業への協力体制を確立するため参加施設数の増加を実現したい。

### Ⅲ. 出版部

#### 1. 会誌

岡山医学検査を会員の研究発表の場として、例年2回電子版を発刊予定。  
発行月：2月、8月

## 【渉外担当関係】

### I. 企画調査部

#### 1. 健康と臨床検査展

公益法人として、県民の健康増進ならびに臨床検査、臨床検査技師について啓発する機会となる「健康と臨床検査展」(検査と健康展)を、日臨技開催にあわせ2026年10月または11月に行いたい。

#### 2. 岡山県診療放射線技師会・岡山県臨床工学技士会との共同事業(OT<sup>3</sup>コラボセミナー)

チーム医療活動の一環として参画したい。

### II. 企画青年部

健康イベントについては、開催が未定の自治体もあるが、開催の際は積極的に参画したい。

#### 1. つやまスポーツフェスティバル

2026年10月 開催予定の健康イベントにて臨床検査コーナーで市民の検査ならびに相談に応じたい。

#### 2. スポレクフェステ赤磐

2026年10月 開催予定の健康イベントにて臨床検査コーナーでの市民の検査ならびに相談に応じたい。

#### 3. たまの元気が一番展&食育展

2026年10月 開催予定の臨床検査コーナーで市民の検査ならびに相談に応じたい。

#### 4. その他の地域の健康イベント

情報を収集し、市民参加の健康イベントに参画したい。

#### 5. ソフトボール大会等の親睦行事

ソフトボール大会等を2026年5月または6月に開催し、会員の親睦・交流を図りたい。また、ソフトボール大会以外の親睦行事についても検討したい。

#### 6. 新規の臨床検査啓発事業

一般市民向けの疾病予防普及啓発イベント等の開催に際し臨床検査コーナー等で協力し、臨

床検査及び臨床検査技師の啓発を行いたい。

## 【地域保健医療との連携】

下記の事業に対し会員を派遣し、協力をしたい。

#### 1. 岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会委員

1) 胃がん・大腸がん部会

2) 肺がん部会

#### 2. 岡山県医師会臨床検査精度管理実行委員会

#### 3. 岡山県南西部圏域救急医療体制推進協議会

#### 4. 岡山県合同輸血療法委員会

## 【事業報告】

# 2026(R8)年度 一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 収 支 予 算 書

2026(R8)年 4月 1日から 2027(R9)年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	2026(R8)年度 予 算 額	2025(R7)年度 予 算 額	増 ▲減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 受取入金	162,000	162,000	0	
正会員入会金収益	140,000	140,000	0	2,000×70名
個人賛助会員入会金収益	2,000	2,000	0	2,000×1社
法人賛助会員入会金収益	20,000	20,000	0	10,000×2社
(2) 受取会費	8,730,000	8,675,000	55,000	
正会員会費収益	7,725,000	7,670,000	55,000	5,000×1,545名
個人賛助会員会費収益	5,000	5,000	0	5,000×1名
法人賛助会員会費収益	1,000,000	1,000,000	0	20,000×50社
(3) 事業収益	4,300,000	3,840,000	460,000	
講習会事業収益	1,720,000	2,080,000	▲ 360,000	
講習会参加費収益	1,700,000	2,060,000	▲ 360,000	県学会、速報会、部門別講演会等
講習会協賛金収益	20,000	20,000	0	
生涯教育研修事業収益	900,000	30,000	870,000	
展示広告事業収益	530,000	530,000	0	
広告費収益	210,000	210,000	0	
学会展示・セミナー費収益	320,000	320,000	0	セミナー:40,000×8社
精度管理事業収益	1,150,000	1,200,000	▲ 50,000	10,000×115施設
(4) 受取補助金等	500,000	825,000	▲ 325,000	
日臨技助成金収益	500,000	825,000	▲ 325,000	部門講習会、健康と検査展等
(5) 雑収益	60,000	60,000	0	
受取利息収益	10,000	10,000	0	
その他雑収益	50,000	50,000	0	
経常収益計	13,752,000	13,562,000	190,000	
2 経常費用				
(1) 事業費	10,509,000	7,776,000	2,733,000	
福利厚生費	520,000	705,000	▲ 185,000	新入会員研修会、ソフトボール大会
旅費交通費	1,550,000	1,140,000	410,000	
県内旅費交通費	1,440,000	1,000,000	440,000	部門講習会、スポレクフェステ、OT3、検査展、総会等
県外旅費交通費	110,000	140,000	▲ 30,000	日臨技研修会
通信運搬費	25,000	25,000	0	
電話料	5,000	5,000	0	
切手類等	20,000	20,000	0	
接待交際費	5,000	65,000	▲ 60,000	
総会会場費	30,000	30,000	0	
学会負担費	0	0	0	
生涯教育研修事業費	1,748,000	1,680,000	68,000	
講師謝金	1,318,000	1,280,000	38,000	部門講習会等、新人研修会、総会
研修会場費	230,000	200,000	30,000	部門講習会等
研修会運営費	200,000	200,000	0	部門講習会等
精度管理開催費	1,880,000	2,140,000	▲ 260,000	
精度管理費	745,000	775,000	▲ 30,000	
精度管理試薬試料費	1,085,000	1,315,000	▲ 230,000	
精度管理研究費	0	0	0	

事業協力費	0	0	0	
その他	50,000	50,000	0	
印刷製本費	660,000	660,000	0	岡山医学検査
臨床検査展等会場費	675,000	575,000	100,000	スポレクフェステ、OT3、健康と臨床検査展等
検査展機器レンタル費	350,000	720,000	▲ 370,000	検査展機器レンタル費
雑費	3,066,000	36,000	3,030,000	岡臨技40周年事業
(2) 管理費	7,969,400	8,437,000	▲ 467,600	
給料手当	2,000,000	2,000,000	0	事務職員給料
会議費	2,225,400	2,193,000	32,400	
理事会費	500,000	500,000	0	
総務部委員会費	250,000	250,000	0	
学術部委員会費	1,340,000	1,310,000	30,000	
渉外部委員会費	120,400	118,000	2,400	
選挙管理委員会費	5,000	5,000	0	
諮問委員会費	10,000	10,000	0	
旅費交通費	300,000	200,000	100,000	
県内旅費交通費	100,000	100,000	0	関係団体式典等
県外旅費交通費	200,000	100,000	100,000	中四国学会連絡会議
通信運搬費	155,000	155,000	0	
電話料	105,000	105,000	0	
切手類等	20,000	20,000	0	
DM便送付料	30,000	30,000	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	300,000	400,000	▲ 100,000	理事増員分PC等
修繕費	50,000	50,000	0	
印刷製本費	150,000	150,000	0	事業報告書・総会議案書等
接待交際費	300,000	300,000	0	永年会員等表彰費等
光熱水料費	80,000	80,000	0	
資料購入費	5,000	5,000	0	
事務所維持管理費	400,000	400,000	0	ホームページ保守費用等
修繕積立金	160,000	160,000	0	
地代家賃	180,000	180,000	0	
リース料	0	0	0	
災害保険料	50,000	50,000	0	
諸謝金	814,000	814,000	0	税務会計顧問料
租税公課	170,000	170,000	0	
関係諸団体費	100,000	100,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
雑費	500,000	1,000,000	▲ 500,000	修繕費等
経常費用計	18,478,400	16,213,000	2,265,400	
当期経常増減額	▲ 4,726,400	▲ 2,651,000	▲ 2,075,400	
<b>II 経常外増減の部</b>			0	
1 経常外収益			0	
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0	
(2) 特定資産取崩収入	3,000,000	250,000	2,750,000	
学術奨励引当資産取崩収入	3,000,000	250,000	2,750,000	定期預金取崩し(岡臨技40周年事業)
中四学会引当資産取崩収入	0	0	0	
(3) 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	3,000,000	250,000	2,750,000	
2 経常外費用				
(1) 基本財産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産支出	0	400,000	▲ 400,000	
減価償却引当資産支出	0	400,000	▲ 400,000	減価償却分

(3) 固定資産取得支出	0	0	0
經常外費用計	0	400,000	▲ 400,000
当期經常外増減額	3,000,000	▲ 150,000	3,150,000
当期一般正味財産増減額	▲ 1,726,400	▲ 2,801,000	1,074,600